木製防火ドア（開き戸）

取扱説明書

常時閉鎖型防火戸（開き戸）

施工業者様へ
この取扱説明書は実際に使用される方と建築物を管理される立場の方へ必ずお渡しください

当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用いただくために、「本取扱説明書」及びドア付属されている錠前・ドアクローザーの「取扱説明書」をよくお読みください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

本製品は災害時、人身及び財産の損害を防止する機能がございますいので、以下に記載する事項を必ずお守りください。

①ドア本体の取扱説明

1) ドアの開閉時には、丁番側（吊元側）のすき間に絶対に手を置かないでください。指を挟んで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

2) ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指を挟み、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

3) ドアクローザー、ヒンジクローザー、フロアヒンジ等自閉装置については、引渡し時に通行に安全な速度に調整されていますが、使用中の条件により閉鎖速度が変わることがあり、閉まるドアにぶつかり、けがにつながることがあります。閉鎖速度については建物管理者による定期点検を実施してください。

4) ドアは、防火管理上いつも閉まった状態にしておくことが必要です。（常時閉鎖型防火戸）
ドアにくさび、ストッパー、ドアガード等をかませて開放状態にしておきますと、火災発生時延焼する等被害の拡大につながるおそれがありますので、開放状態にしないでください。

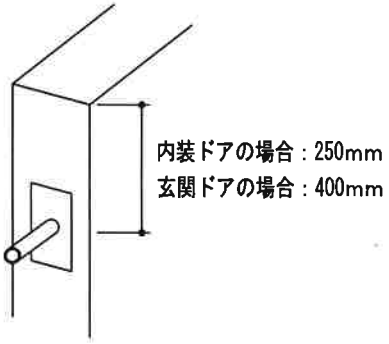
5) ガラス扉の耐熱ガラスを使用していますので、刃物などで傷をつけないようご注意ください。

6) 扉表面及び額縁（モール）に釘や捻子、ビス等を打たないでください。火災発生時、火が漏れる可能性があります。

②災害時の防火機能取扱説明

1) 本製品は火災発生時から２０分間（６０分間）部屋への火災侵入を防ぐ機能がついております。
※（　）は６０分耐火の場合。

2) ドアの表面温度が約８０度に達するとファイヤーラッチが作動し、火災によるドアの反りを防ぎます。
部屋の外へ脱出する際はファイヤーラッチの設置位置にドアの表面温度を下げるため、水をかけてください。ラッチが解除されます。
万一解除されない場合はハンマー等で叩いて破壊してください。



3) 火災発生後、扉の表面は手で触れることが出来ますが、ガラスやハンドル等の金物類は温度が上がりますので絶対に触れないでください。

THE ART OF WOOD NONAKA

施工説明書

木製防火ドア OB-1/OB-2
(20分耐火)

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設専用です。他の用途への使用はおやめください。

■施工の前に、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
■施工後、この施工説明書と取扱説明書を、必ずお客様にお渡ししてください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

❷人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠注意

禁止	●商品（本体や枠など）をシンナーやアルコール・ベンジンなどの溶剤で拭かない 色ムラや劣化促進の原因になります。
必ず守る	●2人以上で作業する 1人作業では商品の転倒などによりけがをするおそれがあります。
	●必ず付属の金具・ねじにて作業する 商品を確実に固定でき、破損、落下、転倒によりけがをするおそれがあります。
	●ねじを固定する場合は、電動ドライバーなどで締めすぎによるねじの空回り、扉（スリワリ）つぶれのないようにする 守らないと、ユニットなどが落下してけがをするおそれがあります。
	●枠（特に天井面）を躯体へ確実に固定する 確実に固定しないと、転倒してけがをするおそれがあります。

施工上のご注意

●建築完了まで、ダンボールなどで本体及び枠の養生をしてください。
また、商品に直接養生テープや粘着テープなどは貼らないでください。

●本商品は仕上り完成品ですので、ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。

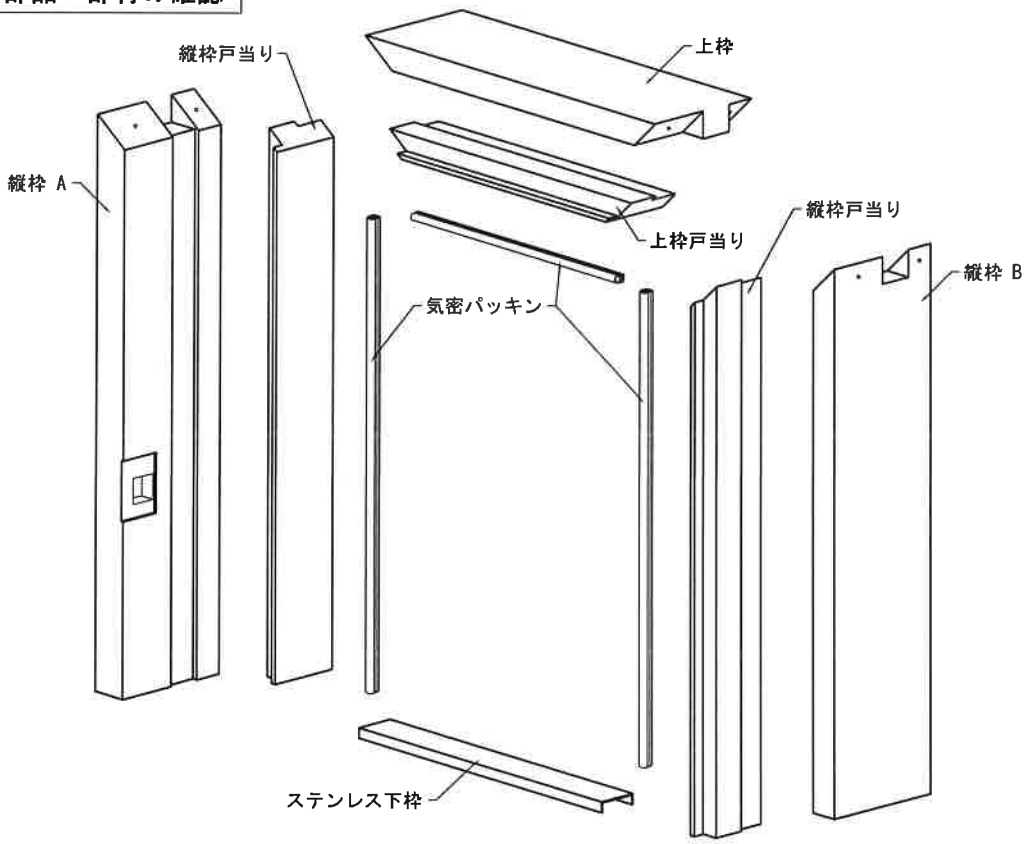
●商品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け、床面が水平な場所に立てかけて保管してください。

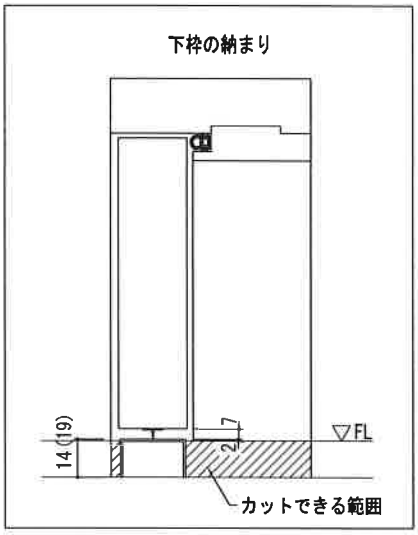
●表面が汚れた時は、やわらかい布に中性洗剤を水でうすめたものを含ませて拭き取ってください。

●湿気の多い場所には、施工しないでください。
（本体の反りや作動不良の原因となります。）

●鏡面塗装仕上げの施工について
施工中、あて傷、ひっかき傷がつくと経年で塗膜にクラックが入るおそれがありますので、養生は確実におこなってください。

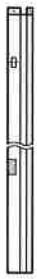
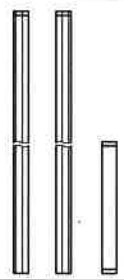
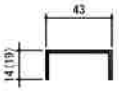
部品・部材の確認



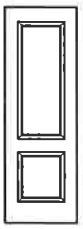


■各梱包内容

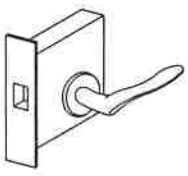
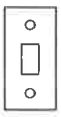
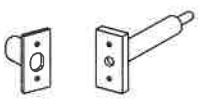
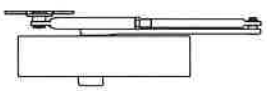
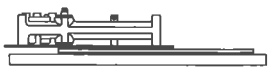
外枠梱包内容

部品・部材名	たて枠（A）ストライク側		たて枠（B）丁番側		上枠	木製戸当り	枠固定用ねじ	ステンレス下枠	気密パッキン（戸当り用）	その他の部材
姿図										接着剤（変性酢ビ）
入数	片開 1	親子 0	片開 1	親子 2	1	3	10	1	縦用2、横用1	1

ドア本体梱包内容

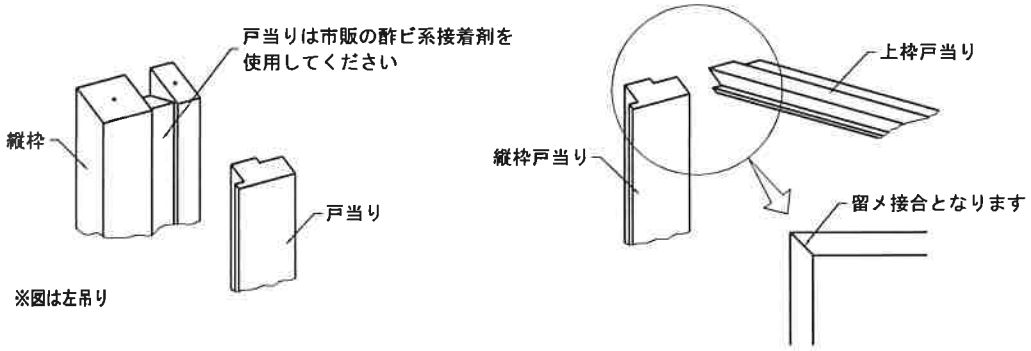
部品・部材名	ドア本体	
姿図		
入数	片開 1	親子 2

金物

部品・部材名	ハンドル（形状が異なる場合があります）		ファイヤーラッチ	丁番	ドアクローザー（下記どちらか）	
姿図	ハンドル 	ストライク（調整式） 			面付型 	コンシールド型（逆付） 
入数			1	3	1	

施工手順 B　ドア本体・戸当りの取付け

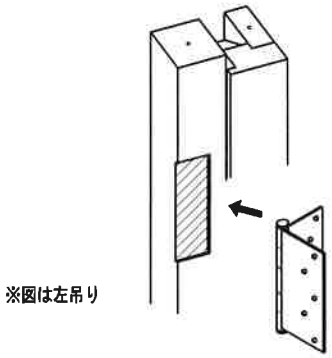
⑥ 戸当りの取付け

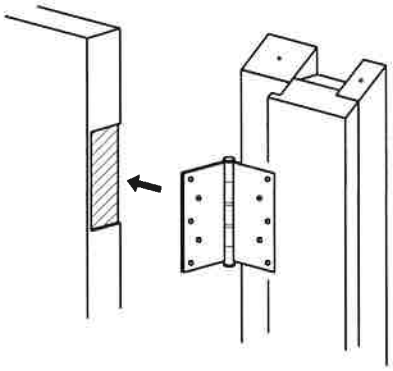


⑦ ドアの吊り込み方

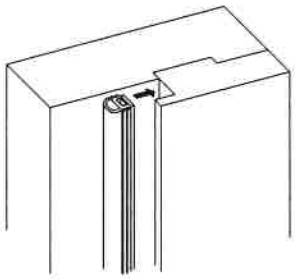
・あらかじめ枠側に加工してある位置に上から順番に丁番付属のビスで取付けてください。（3点吊り）

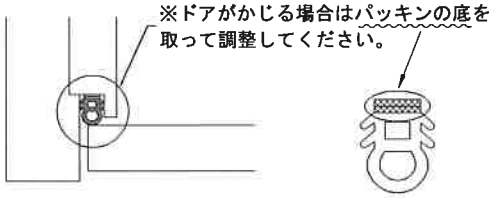
・ドア側に丁番を取付けて固定してください。
※一番上側の丁番から取付けること

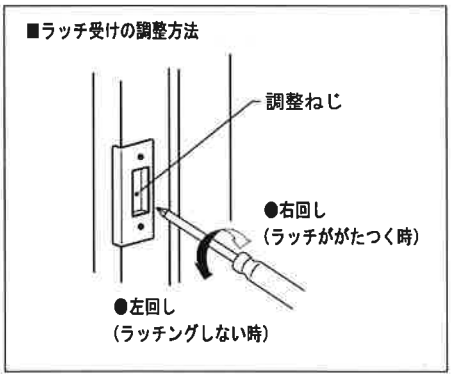




・建込み作業終了後、戸当りパッキンを取付けてください。







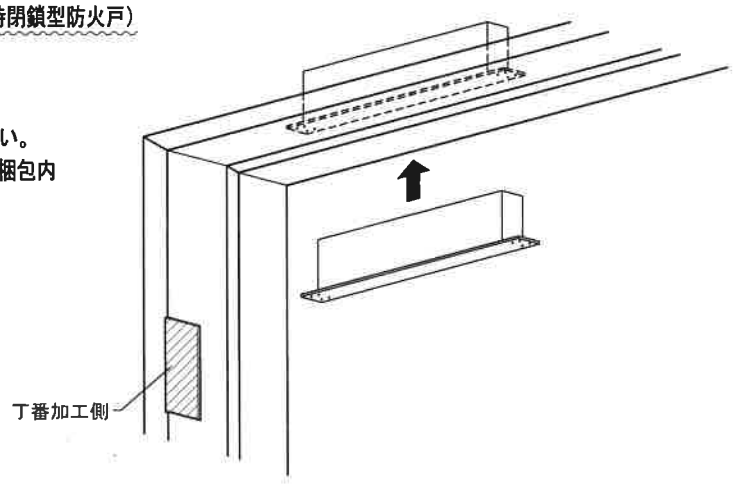
⑧ 金物の取付け

・ドアクローザーの取付けは金物に同梱されている「取付用型紙」を扉面にあてて、取付穴位置を決めてください。（ネジ数：8ヶ所）
・コンシールド型ドアクローザーの場合は「逆付」となります。（上枠より本体が飛び出します）
いずれのドアクローザーもストップ機能はございません。（常時閉鎖型防火戸）

⑨ ファイヤーラッチの取付け

・ あらかじめ加工済の箇所にファイヤーラッチを取付けてください。
この製品がない場合は防火扉にはなりませんので、あらかじめ梱包内に入っていることを必ず確認してください。

※　絶対に分解しないでください。



施工手順A　ドア枠の取付け

管理番号：NWP-06-0B2010-01

① 枠を開口部にはめこんで建枠側の上部から取付ビスで仮固定してください。（推奨3.8×75）

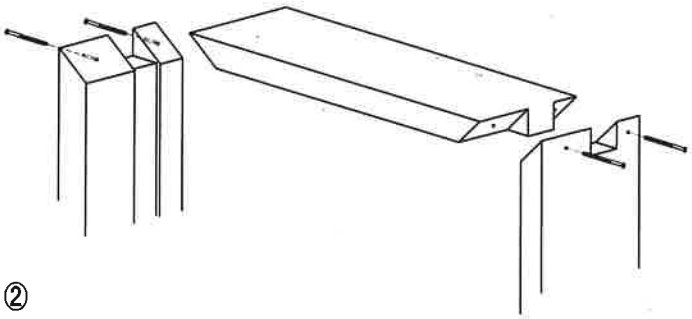
② 下げ振りを使って垂直をだしてから、カイモノをして縦枠の上部からビスで仮固定してください。

③ ステンレス製床見切りを扉が閉まる位置の中心ですえ置きしてください。（モルタル固定）

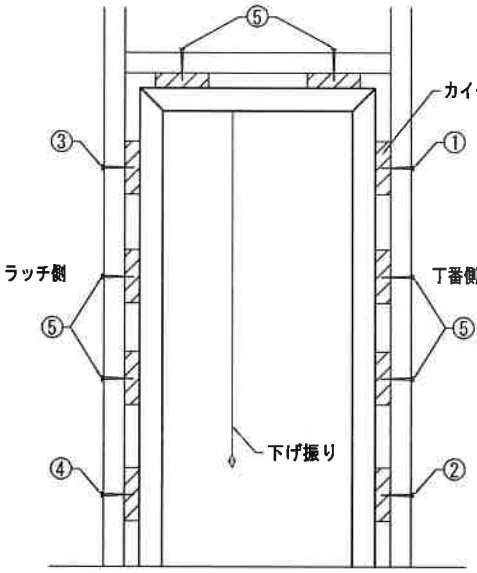
④ 水準器で上枠の水平を見ながら縦枠の上部をビスで固定してください。

⑤ 下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠の下部を固定してください。

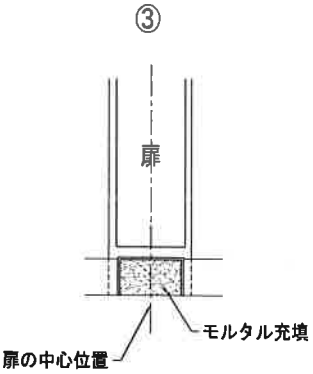
①



②



③



⚠注意

建具の開き勝手は 必ず確認してください。

⚠注意

枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

⚠注意

下記のようなことがあった場合、扉が閉まりません。施工前に開口部の確認をしてください。